GUEST1000_1

しょか かじつ しぼ こ め 3601: 初夏の果実をぎゅぎゅっと 絞った、濃い目のフレッシュなジュースです。

きみ お た き 3602: リュウヘイくぅん、君の生い立ちについて、訊いてもいいですか?

きゃしゃ いもうと ななくさがゆ あつ た 3603: 華奢な 妹 が、七草粥を熱そうに食べていました。

おおあめけいほう きゅうじつ ご ほん よ 3604: 大雨警報の休日は、スィンディー語の本を読みました。

びゃくだん かお きょうしゅう 3605: 白檀の香りがして、つい郷 愁にふけっちゃいました。

も はんのう しゃく ぞう た 3606: 藻に 反 応 する試薬を、ビュレットでミューズ 像 に垂らします。

に きゅう かねつ ふかけつ おっしゃ 3607: 煮るときは、 急 に加熱しないのが不可欠だと 仰 ります。

おととし とう りょこう みみ 3608: 一昨年は、グァム島へ旅行したと、耳にはさみました。

はんろ うわさ うそはっぴゃく 3609: そこに坂路があるなんて 噂 は、嘘 八 百 だったんです。

きかく 3610: やっとこさ、チョコレートフォンデュパーティーの企画ができますね。

ろくじゅっぷんご かんじゃ こうべ とうちゃく 3611: 六十分後、患者が神戸のヘリポートに、到着しました。

ほか ぶね お がみ お 3612: 帆掛け船 からプテラノドンまで、折り紙で折れないものはありません。

ねむ まる なか 3613: そのままぐぅぐぅと 眠りながら、丸いお腹をさすっています。

すいめん あし つ ひょうしぬ 3614: おそるおそる水面に足を漬けてみて、拍子抜けしました。

とお しょうけい まなざ み 3615: 遠くにいるクィントゥスを、 憧 憬 の 眼差しで、見つめています。

かんそく つと τ てんもんか 3616: クェーサーの観測を務めたのは、アマチュア天文家でした。

だれ き ぜつみょう ねいろ しょうかい 3617: 誰もが聞く 絶 妙 な音色、ウーリッツァーのご 紹 介 です。

りゅうがくせい どくぶつ はやみひょう 3618: 留 学 生 のビェンさんが、 毒 物 の 早 見 表 をくれました。

わけ ぶつよく しげき 3619: ウィンドウショッピングには、訳もなく物欲が刺激されます。

しゃりょう じゅずつな 3620: アイヴォリーカラーのミニ 車 両 が、数珠繋 ぎになっていました。 らいしゅう せっちゅうあん ていしゅつよてい 3621: 来 週 までには、折 衷 案 をフォームへ提 出 予定です。

でラーよこ かわ み 3622: あたしには、ヴィーナス像の横っ側らへんが、見えたんですよ。

けいけん 3623: 経 験 からすぐ、ジェットエンジンが焼けているとわかりました。

きょう かえ しょうがくせい き ゆ 3624: 今日も帰りの小 学 生たちが、ビワの木を揺すりにきます。

あね ろうじょう へゃ ぞうすい とど 3625: 姉が籠 城している部屋まで、雑炊を届けてきました。

しはん わたし ねいけいじ い ほ 3626: ヴェネツィアの師範は、 私 を寧馨児だと云って褒めました。

うかまえ さなぎ 3627: このインテルメッツォは、羽化前の 蛹 のようにビューティフルでした。

す あおぞら にがて 3628: クァウグナール・フォーンは、澄んだ 青 空 が苦手なのでしょうか?

ふとうしき ぎろん けいこう 3629: これは、イェンセンの不等式で議論される傾向があります。

そうぁ こうげき そな みゃくらく 3630: 総当たり攻撃に備え、脈 絡のないパスワードにします。

おうろ とっぴょうし こんにゃく は 3631: 往路に 突 拍 子もなく、ニョキッと 蒟 蒻 が生えています。

ちいき うつ ひゃくどまい じんじゃ か3632: 地域を移ってから、お百度参りする神社が変わりました。

で 3633: おばあちゃんの焼くプレッツェルは、並みのおいしさではないのです。

と そうせつ びょうとう むなぎ ま ぷた 3634: 父っつぁんが 増 設 した、 病 棟 の棟木が真っ二 つでした。

きょ ただ しんちょう 3635: ここは清く正しく、デュアルディスプレイに新 調 すべきです。

はっせいよくせい てぶくろ 3636: ごみ発生抑制のため、ポリエチレン手袋をやめます。

しろみざかな に かまど たきぎ 3637: 白身魚とトマトピューレを煮ている竈に、薪をくべます。

つぎ ほう きかがくてき しめ ず 3638: 次 が、ニュートンラフソン 法 を、幾何学的に 示 した図です。

かれ め い い 3639: アルティテュードダイビングが、彼の目を生き生きとさせます。

すが しら めん ちゅうもん 3640: 須賀さんは、レビューを調べてビャンビャン麺を注文しました。

だいがく りんしょうじっけんご しゃれい ふ こ 3641: イェール 大 学 での 臨 床 実 験 後、謝 礼 が振り込まれます。

のこ れんしゅう つい 3642: 残りのページは、ドゥーワップの 練 習 だけに 費 やしました。

なわみず すいみゃく じゃくさんせい 3643: ロレンツォが、苗水の水脈が弱酸性かチェックします。

かし よゆう おお じゅんび 3644: プレッツヒェンなる菓子を、余裕をもって多めに準備します。

つぎ あ りょうたん ま 3645: 次は、ワイヤーをゲージに合わせつつ、 両 端 をねじ曲げます。

あ 3646: 明かされたエラーの元は、ヌルポインター・エクセプションでした。

いせき はっくつぶつ むね 3647: テオティワカン遺跡の発掘物は、どこの棟にありますか?

ほくとう そうこ せば 3648: タクラマカン北東、デョンコタンにある倉庫が狭まります。

そふ だいす き やす い 3649: 祖父は、大好きなボサノヴァを聴きながら、安らかに逝きました。

ねこ ひざ の た あ 3650: 猫が膝に乗ってきて、ロッキングチェアから立ち上がれません。

なぜ はさ 3651: 何故か挟まっていた、スウィンギーなジャズフュージョンのディスクです。

けんぞうぶつ かのじょ 3652: あの、いかにもアヴァンギャルドな 建 造 物 が、彼 女 のカフェです。

おじ いとな 3653: 叔父が 営 むベジタブルガーデンで、胡 瓜を 収 穫 します。

きょうのすけ あ てがみ ぞくぞく とど 3654: ところが、京之介へ宛てた手紙が、続々と届きました。

そうぜいろっぴゃくめい うた 3655: アヴェニュー総勢六百名で、ポピュラーソングを歌います。

こうしゃく だいきぼ ぼんしょう かね おとず 3656: 侯 爵 は、大規模な 梵 鐘 、ミングォンの 鐘 を 訪 れます。

はんせいはんすい おも だ 3657: 半醒半睡のなか思い出したのは、ライプツィヒでしょうか?

りょうり 3658: ピスタチオ料理なら、トルコのガズィアンテプを推奨します。

み 3659: そのバイナリが、ファイルアロケーションテーブルに見えてきました。

かざ はなたば いただ 3660: 飾ってある花 束 は、ギェレルプさんから 頂 いたものです。

せんちゃく こうけん 3661: ロンセスバリェスに 先 着 できたのは、ジェニファーの 貢 献 です。

ひゃくねん ことぶき いわ きちょう ばんちゃ にゅうしゅ 3662: 百年の寿 を祝い、貴重な番茶を入手しました。

ふたり やおちょうぎわく ふじょう 3663: テョリルとエイヴィンドの二人に、八百長疑惑が浮上します。

こうべ さ 5そう くだ 3664: メルシィと 頭 を下げて、ビュッフェをご馳走して下さいました。

しょうりつぶんせき ごじっぽひゃっぽ 3665: ヒューリスティックな 勝 率 分析では、五十歩百歩ですよ。

でんとうがっき つまび 3666: ケニアのニェリで、伝統楽器ニャティティを、爪弾いておりました。

かいしゃく こんじゃく 5が み 3668: キャピキャピギャルの解釈も、今昔では違いが見えてきます。

ぎょぎょうふしん こうとうりゆう 3669: フィナンシャルタイムズによれば、漁業不振が高騰理由です。

さんみゃく つるぎ びちょうせい 3670: 山脈のフォグと、剣のシェーディングを、微調整しました。

だいごもん かなら な おと なまえ 3671: 第五問、フューチャーベースで 必 ず鳴ってる 音 の名前は?

ろうにゃくなんにょと にんき 3672: ポーランドのケーキピェルニキは、老若男女問わず人気です。

3673: むしろ、チェビシェフフィルターよりも、柔らかい特性となります。

ぜ ぜ いっぱ みたま まつ さいだん 3674: かつて、膳所一派の御霊を 祀る、祭 壇 だったとされます。

れんがづく えき しちじ かいさい 3675: ライヴは、煉瓦造りの駅にて、七時から開催されます。

かずかず ろくおんばん きょく 3676: アディオス・ムチャーチョスは、数々の録音盤がある曲です。

5000 = 500

やはぎさま ぐんま ぶしたいかい もよお 3678: 矢矧 様、ぜひ群馬で、ピョンコ節 大 会を 催 しましょう。

やまぐちけんわきちょう さいしゅ 3679: 山口県和木町から採取された、ミネラルウォーターです。

お な 3680: シェリーは、トゥートゥーとタンギングするものの、惜しくも鳴りません。

3681: ワンウェイ斜面を、ボロボロの部屋着でぶっちぎりゴールでした。

 $_{0}^{\text{hoft}}$ の $_{0}^{\text{bf}}$ ぶょうきょく ひ $_{0}^{\text{bf}}$ 3682: 身体を伸び縮みさせ、舞 踊 曲 エスパニョレータを弾きます。

しゅしょう きりゃく き りょうこく わぼく しゅどう 3683: 首 相 は機略を効かせて、両 国の和睦を主導しました。

つく じゅしん 3684: ディヴェロッパーチームのグィードらが作る、受信プログラムです。

やぬし め みひら ひもろぎ ほしゅう 3685: 家主はギョッと目を見開き、神籬を補修しはじめました。

ことば ご やく ぎもん 3686: ウェールズの言葉、コーンウォール語で、グェリイの 訳 が疑問です。

し りょかん てつだ ちょすいち せんじょう 3687: カジミェシュ氏は、旅館を手伝うなか、貯水池も洗浄します。

でっぽう はな ききいっぱつ 3688: へなちょこなゴム鉄 砲で、「でぇーい」と放って、危機一髪です。

びじゅつかん ざりゅうせいぐん つうち とど 3689: 美術館に、しぶんぎ座流星群の通知が届きました。

あに と じょうほうしょりぎじゅつしゃしけん はなし き 3690: 兄を捕らえ、情報処理技術者試験の話を聞きます。

おとこ すがた かたて さわ 3691: 男 がクォーターパンツ 姿 で、チェンソー片手に騒ぎます。

ひろ 3692: 広 げられたフデャコワのドレスが、めちゃめちゃ 魅 力 的 なのです。

わいろ ひれつ ふせい ゆる 3693: プロフェッショナルは、賄賂など卑劣な不正を許しません。

がごしま びょう しょうれい で 3694: 鹿児島で、フォン・レックリングハウゼン 病 の 症 例 が出ました。

3695: 実際の防御率トップは、メドゥーサでなく、ドリュアデスです。

ずかん み こ きおく きざ 3696: 図鑑で見たマチュピチュや、ティティカカ湖が、記憶に刻まれています。

てんどうし ぎり も 3697: 天童市から、わざわざ義理チョコを持ってきてくれるのです。

か じゅうみんたち きせい はっ 3698: ゾンビ化した 住 民 達が、キェイ、グェアなど、奇声を発します。

きじ じょじょ ふく 3699: ペッチャンコだったパン生地が、徐々に膨らんでゆきます。

stD 3700: クレーンゲームにめっぽう弱く、やけっぱちでフィギュアにトライします。

の あ 3701: 乗り合わせたミュンヘンのステュワーデスが、水 を 恵 んでくれた。

ばん しんぴょうせい まゆつばもの 3702: ベータ版のソフトウェアであり、信 憑 性 は眉 唾 物だ。

しょうりゃくご ふゆうりゅうし じょう ひと 3703: 省略後も、浮遊粒子のシミュレーション上は、等しくなる。

にほんじゅうけつきゅうちゅうしょう か3704: ちょっとさ、日本住血吸虫症のレポートって書いた?

ふごうへんちょう もち ひつぜんてき 3705: そこでパルス符号 変 調 を用いるのは、必 然 的である。

いちど や だれ 3706: スクィーズのメンバーで、一度も辞めていないのは誰だろうか?

5ゅうざぶろう しゅくふく おく 3707: 忠 三 郎 への 祝 福 として、ヴィンテージワインを贈る。

3708: レッドツェッペリンは、ヘヴィメタルに多大な 影 響 をもたらした。

ばあ しぇんいぇん い つりせんこうか さが 3709: 婆 さんは、「あい 千 円 ね」と言って、釣 銭 硬貨を探した。

な きょうめいおん きょうふ 3710: ミヒェルが、トンネルのグォーと鳴る 共 鳴 音 に、恐 怖 している。

ひろつぐくん げきれいかい りつあん 3711: ピッチャーの啓次君のために、激励会を立案する。

よこ t しゅんかん もくぜん t さき t の t 3712: 横を向いた 瞬 間、目前にペン先があって仰け反る。

ていきょう ていしゅく ふじん ちが 3713: 提供ファイルによれば、貞淑な夫人だったに違いない。

びちょうせい ない おさ 3714: フォントサイズを 微 調 整 しつつ、ポートフォリオ 内 に 納 める。

なぜ きょう ひじょう ちょうか 3715: 何故だか今日のペリーヌたちは、非常にイレギュラーな釣果だ。

とつぷう ふ て お 3716: 突風が吹き、ヴォーカルのカーテャが、手でヘアウィッグを押さえる。

たい じょうねつ か 3717: ルドウィグの、モーツァルトに対するピュアな情熱は枯らせまい。

しんちょく き 3718: プロジェクト 進 捗 を聞くと、しょんぼりとバツのジェスチャーをした。

そふ つくえ しでん じょうしゃけん み 3719: 祖父の 机 から、ピャチゴルスク市電の 乗 車 券 を見つけた。

 $_{\text{by}}$ うし $_{\text{by}}$ しょくにん とむら $_{\text{ct}}$ 3720: 急 死 したピッツァ 職 人 を 弔 うため、レクイエムを捧ぐ。

ふたえまぶた かれ りゅみ うた 3721: 二 重 瞼 の 彼 が、カンツォーネ、「フィレンツェを 夢 見て | を 歌 う。

しゅうい びれい そうしょく ほどこ 3722: そのツィターの 周 囲 には、美麗な 装 飾 が 施 されている。

あふ しゅういつ ひつどく 3723: ユーモア溢れる 秀 逸 なクォーテーションは、必 読といえる。

さま こうちゃくじょうたい とっぱ 3724: クァンシ様が、膠 着 状 態 のなかでディフェンスを突破する。

なが しゃいん いこ ばしょ 3725: アイリッシュミュージックが流れる、社員らが憩う場所である。 ひょうし くろちゃ びゃくろく か3726: ファームウェアマニュアルの表紙が、黒茶から白緑へ変わった。

でいりょう あまにゆこ いち ぎゅうにゅうひゃく 3727: 材料は、亜麻仁油小さじ一と、牛乳 百ミリリットルだ。

ついか もふく こうにゅう 3728: いまさら、ウィッシュリストに追加していた、喪服を 購 入 する。

せいぎょ 3729: ウォシュレットのフィードバック 制 御 にフォーカスして、レビューをする。

みやぐちしゅびょうてん よっか しょくりん せいか はっぴょう 3730: 宮 口 種 苗 店 が、四日、 植 林 の成果を 発 表 した。

く あ きばつ かみがた 3731: ポンパドゥールにパンチを組み合わせた、やや奇抜な髪型だ。

5ょうじゅみょう む みつくろ 3732: 長寿命なロボット向け、サーボマニピュレーターを見繕う。

じょうぞうしゅ しせつ ちょぞう 3733: ワインなど 醸 造 酒 は、マンチェスターの施設に 貯 蔵 される。

ぎょうぎょう そうしゃ きゅうけいじょ れいきゃくちゅう 3734: 仰々しいビブラフォン奏者も、休憩所で冷却中だ。

ひぐち きょう みと 3735: プロデューサーが、樋口とサミュエルのヴォーカル起用を認めた。

ひびゃ 3736: ありゃりゃ、日比谷のミェロンが、ジャムの中でフニャフニャになっちゃってる。

えもと ふゆ おもちゃはなび ゆめ み 3737: 柄本さんは、冬のヴィリホヴェーツィで、玩具花火の夢を見る。

かこ なごりお まえ ぎ 3739: そのポシャッた過去のフィルムを、名残惜しむ前にちょん切りゃいい。

ゅか とんじる 3740: 床 にこぼれた 豚 汁 を、コミュニティーセンターのティッシュで拭く。

かぶきちょう じゅずや えいよ しょう じゅよ 3741: 歌舞伎町の珠数屋が、栄誉あるピュリッツァー 賞 を授与される。

ひま つぎつぎ 3742: メロディアスなミュゼットが、暇なギャラリーを次々キャッチした。

しょうきゃくろ なが しゃべ らくるい こら 3743: 焼 却 炉 を 眺 め な が ら 喋 ろ う と し て 、 落 涙 を 堪 え る 。

こた さい 3744: 旧 友 オーギュストの、「グゥレイト」コールに応え、再チャレンジだ。

きんか ぬす つみ こ 3745: ヒュペルピュロン金貨を盗んだ罪で、ピシャピシャ懲らしめてきた。

がんご で えいきょう うす 3746: しかし、ナイジェリアの言語、ニングォム語では、 影 響 が薄まる。

- なつ おじ か 3747: 懐いた叔父から、ファミコンのアクションゲーム、ファザナドゥを借りる。
- まじゅつ はっぴゃくぎょう ちゃ にご 3748: ジャヴァで記述した、スパゲティーコード八百行で、茶を濁す。
- ながちょうば きゅうか 3749: 長丁場の、ディストリビューティビティーテスト作業後が、休暇だ。
- な ふきゅう めいきょく 3750: やっぱさー、ヒュルヒュル泣いちゃってさ、こりゃ 不 朽 の 名 曲 じゃんね?
- どしゃ ちょうずや ひ ぬ 3751: そんでぇー、しこたまの土砂から、手水舎を引っこ抜きゃオッケーだ。
- しぶつ せんりょう 3752: 私物の 染 料 には、インディゴカルミンや、クェルセチンを 含 む。
- しゃしん しゅくしゃく み しょうき がんきゅう 3753: 写真の縮 尺を見て、正気かと眼 球をギョロギョロさせる。
- ざ せいだん はっけんず 3754: シャルルは、へび座のファビュラスな星 団を、ちゃんと発 見済みだ。
- じょう きゅうばん ちから しら 3755: マセマティカ 上 でフィッティングさせ、 吸 盤 の 力 を調べる。
- ぎゅうきゃくゆ よ ぬ やく がいとう 3756: だがロレンツォは、牛 脚 油 の選り抜き役には、該 当しない。
- ののし ご こころ き 3757: 罵 りが、モニター越しにシェヴァの 心 をザックゥと斬りつける。
- せ ぼっ な す はなし 3758: 責められても、坊 ちゃんみたくビェーンと泣きゃ済む 話 でもない。
- しょうじき ほしゃく にゅうしゅ ほしょう 3759: 正 直、保釈されても、ペディキュアを入手できる保証はない。
- がやく は あた いちめん けむ 3760: ティーエヌティー火薬がドゥーンと爆ぜて、辺り 一 面 が煙 い。
- つき て よ にんぎょぞく つく ぬ 3761: 月の照る夜に、人魚族が作るチョコパフェは、ずば抜けている。
- じゅうにじごろ やかた れいびょう しゅつげん 3762: 十二時頃には、トゥウェルヴの館に、霊廟が出現する。
- はなは せいしん ま ぞ く 3763: フォスターの 甚 だしいサヴァイヴァル精 神に、巻き添え食らう。
- ちょうへいき むこうか せいりょく おとろ 3764: 超兵器を無効化すれば、ズィンディー勢力は衰えるか?
- きわ せいち か はっぴょうしょうろく にょじつ かた 3765: 極めて精緻に書かれた発表 抄録が、如実に語る。
- ゆび な さけ だれ せい 3766: 指を鳴らし、サムスィントゥ・ドゥリンクと叫ぶ、誰かさんの所為だ。
- ぎじぎゃくぎょうれつ けいすう さんびゃくじ 3767: ムーアペンローズ疑似逆行列の係数は、三百次だ。

ほけんじょ こねこよんひき や

3768: 保健所の仔猫四匹は、みな痩せっぽちでヒョロヒョロだった。

ろぼう じゅんかんこきゅう 3769: 路傍で、ディジュリドゥーの 循 環 呼 吸 をパフォーマンスしている。

くびわしゃちほこ ようちゅう じっけん じっし 3770: 首輪天社蛾の幼虫で、インヴィーヴォ実験を実施する。

ま はごろもしだれ はじ 3771: ここまで幹がぐにゃぐにゃ曲がった、羽衣枝垂は初めてだ。

がわりゅういき しゅりょうりょうりてん つぶ 3772: サヴィニャ川 流 域 の、ツェリェにある、 狩 猟 料 理 店 が 潰 れた。

たいしょうてき せい 3773: ラス・アルゲティと、ラサルハグェは、対 照 的 なアルファ星である。

ちょうおうじょ ちくひょう さだ 3774: ヤギェウォ 朝 王 女、エルジュビェタ・ヤギェロンカが、 目 標 を定める。

じょうほうていきょうしゃほご ひとくそち こう 3775: パチェは、情報提供者保護のために、秘匿措置を講じた。

みせさき せっち かせ 3776: 店 先には、シューティングゲーム、ヴィファイヴを設置して稼ぐ。

ねが へんとう ご 3777: ダーリャとリュボフィーが願う返答はニェット、ロシア語でノーだ。

うおぬまし す びょうじゃく じょせい 3778: ポニョポニョさんは、魚沼市に住む、 病 弱 な女 性らしいのだ。

えいきゅう べゃ で き なみだ 3779: 永久にボス部屋を出られない気がして、ぴぇーんと涙ぐむ。

がたようき れきしてきかち 3780: そのパフュームは、ヘミスフィア型容器で、歴史的価値がある。

りょう お ぎょそんよこ ゆうびんきょく ふうしょ だ 3781: 漁 を終えたあとは、漁 村 横 の 郵 便 局 で、封 書 を出す。

た じだらく ひび 3782: キャッシュディスペンサーへ立つのもわずらわしい、自堕落な日々だ。

けっしょう きそぎじゅつ てが 3783: デョーミンは、 結 晶 や、アモルファスの基礎技術を手掛けてきた。

うつ 3784: アヨーデャーの、マハラジャ・インターカレッジを写したショットだろ?

きょうふ わ あ はいきょ しゅっぱつ 3785: ギャリーと恐怖を分かち合いながら、ボロ廃墟へ出発する。

りさ りょかくしゃない なや たの 3786: 里沙は、旅客車内にてしばらく悩みぬき、チャプチェを頼む。

き ぬかびら は じたい まぬが 3787: ジプロフィリンが効いて、糠 平ダムで吐く事態は、 免 れた。

む ふね はとば みとど 3788: ボスニア・ヘルツェゴビナまで向かう船を、波止場から見届ける。 τ んじょううら みまわ わな 3789: 天 井 裏 をキョロキョロ見回して、罠 にキャンディをセットする。

きょくちじしょう お かくりつ ぶんぷ したが 3790: その極値事象が起きる確率は、フレシェ分布に従う。

どお み ちょうたつ 3791: イェロゾリムスキェ 通りで、チョンタドゥーロの実を 調 達 しかけた。

 a_{a} みょうちょう きょうきゃく は ゆうたいるい ほご 3792: 明 朝、橋 脚 でピョンピョン跳ねる有袋類が、保護される。

づっきゅう ちゃ の はつ 3793: ぎゅうぎゅう詰めのミュージアムで、早 急 にグァバ茶を飲むのは、初だ。

うば つく て みゃくみゃく でんしょう 3794: ポイントを奪いつつピンチを作るやり手が、脈 々 と 伝 承 される。

しゅと ひろば ひだり お がわ 3795: 首都リュブリャーナの広場を 左 へ折れれば、リュブリャニーツァ川だ。

しゃ つか とけい 3796: グィーディ 社 のレザーベルトを 使った、ファッショナブルな時計だ。

はんかく もじば じょじょ はきゅう 3797: 半角カタカナの、「テョ」へ文字化けするバグが、徐々に波及する。

な ひび かんきゃく はくしゅ あ 3798: ファンファーレが鳴り響き、ヴァドゥーヴァは 観 客 の拍 手を浴びる。

くちげんか ほこ おさ かていりょうり た 3799: 口喧嘩の矛を収めて、家庭料理、シューファルシィを食べる。

はんてんもよう ざっし ひろ て ふ 3800: 斑点模様の雑誌を拾って、サリュと手を振る。